



2023年2月9日

各位

会社名株式会社雪国まいたけ
代表者名代表取締役社長湯澤尚史
(コード:1375、東証プライム市場)
問合せ先常務執行役員経営企画本部長
櫻井 威典
(TEL. 025-778-0162)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	収 益	営 業 利 益	税引前利益	当 期 利 益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 48,076	百万円 4,893	百万円 4,490	百万円 2,951	百万円 2,951	円 銭 74.03
今回修正予想(B)	42,661	2,151	1,754	1,167	1,166	29.26
増減額(B-A)	△5,415	△2,742	△2,736	△1,784	△1,785	△44.77
増減率(%)	△11.3%	△56.0%	△60.9%	△60.4%	△60.5%	△60.5%
(参考)前期連結実績(2022年3月期)	47,081	4,975	4,564	2,991	2,989	74.92

2. 修正の理由

2023年3月期連結累計期間におきましては、円安やウクライナ情勢等の影響に伴うユーティリティ費の高騰や原材料価格の値上げにより、製造原価が増加して当期利益が圧迫されました。また、物価上昇により消費者需要が量目製品へシフトしたことに加え、他社の増産により市場供給量が増加したことにより、販売単価が低調に推移いたしました。テレビCMによる需要喚起や新商品「雪国まいたけ極白」を発売するも、外部環境の影響は顕著であり、売上収益の減少に伴い各段階利益も前回発表予想を下回る見通しとなりました。

このような状況を勘案いたしまして、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の通期業績予想を修正いたします。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上